

# 長崎高教組新聞

発行  
〒850-0013 長崎市中央2丁目2番5号  
長崎高教組会館 長崎県高等学校教職員組合  
☎ (095)-827-5882  
FAX (095)-826-2976  
編集責任者 平井秀治

高教組メールアドレス  
info@nagasaki-kokyoso.org

## 日高教第28回定期大会

### 長崎高教組 再任用制についてのとりくみで要望

日高教は9、10日、東京で第28回定期大会を開催し、運動方針などの議案を可決しました。

長崎高教組からは代議員として、平井執行委員長と馬場書記長、今泉執行委員(10日のみ)が出席し、平井委員長は「再任用制のあり方」について、長崎高教組が実施したアンケート結果を紹介しながら意見を述べ、討論に參加しました。

討論のまとめをかねた執行部見解で、日高教の藤田書記長は再任用制に關わって「長崎の要望に沿ってとりくむ」ことを表明しました。

平井委員長が行った討論の要旨は以下のとおりです。(写真は発言する平井委員長)

#### 4人に1人がやめたいと思う再任用者

##### アンケート結果から 要求の方針化を

「年金支給年齢の段階 指して、アンケート実態の引き上げに対し政府 調査を2月行った。再任用は、退職年齢の延長でな 用者フルタイム11人、  
く、再任用制の「義務化」 講師32人の教育職43  
を打ち出した。いま、再 人から回答を得た。

任用制を巡っては労働条 件も含めて、全国的には 統一的でなくバラバラで あり、再任用を定数外に 扱うなどの日高教の要求 (9.3%)  
②給料月額 やめたいと「常 質問に対し、『満足』や 『不満』は22人(51%)  
③扶養手当や住居手当な



「納得できない」30人(70%)、  
「納得できない」13人(30%)  
④部活動の正顧問50人で部活に  
関わっているのは25人(50%)  
⑤今の仕事について やめたいと「常  
時思う」3人、「時々思  
う」8人の「思う」は1  
人(25.6%)で4  
人に見合う改善が急がれて  
いる。」

## 2012年度県予算での新規事業

### 就職指導専門員制度を引き継ぐ

# キャリアサポートスタッフ 25校に配置

2012年度の長崎県の予算については、3月の県議会会で審議されて成立しますが、3月6日の文教厚生委員会の審議や、その後の県教委との折衝で、就職指導専門員制度を引き継ぐキャリアサポートスタッフ事業や公立高校離島高校生修学支援費などが新設されることが明らかになりました。

#### 就職指導専門員制度の継続を求める

#### 高教組や現場の要求を反映

キャリアサポートスタッフが、10・11年度は、ツフ事業は、これまでの国の緊急雇用対策の予算就職指導専門員の制度を利用し全県で36校を引き継ぐもので、従来のに配置されました。国の業務に加えて1・2年生の予算は11年度で終了するキャリア教育にもかかるため、高教組は、昨年9月の「高校生の修学と勤務時間は従来と同じ週29時間、25校に配置されます。配置校について県教委は、就職する生徒の多い学校や就職の困難性がかかえる学校に配置するとして、専門高校や定時に配置することになるという見通しを明らかにしています。

#### 公立高校離島高校生修学支援費

#### 高校未設置の島出身の高校生に支援金

公立高校離島高校生修学支援費は、高校が設置されていない島の生徒が、高校に通うための費用を補助するもので、島を出て下宿などをして通学する場合の通学費については、2009年度までは8校への配置でした。公立高校離島高校生修学支援費は、2014年度まで3年間延長した上で、「返還猶予・減免制度を導入すること」などを決定しています。

#### 奨学金の返還猶予制度の導入を検討

文科省は、低所得世帯の生徒等を救済するため、各都道府県に設置されている「高校生修学支援基金」を2014年度まで3年間延長した上で、「返還猶予・減免制度を導入すること」などを決定しています。

#### 12年度定期異動の内示は19日

\* 異動者に対するアンケート調査は4月中に行います。



# 県教委 公舎(教職員住宅)の集約化についての素案を提示

## 64棟158戸廃止対象

県教委の教育環境整備課は、3月1日、高教組書記局に来局し、教職員公舎を集約化する方針で、素案を提示しました。これは、県議会決算審査特別委員会の「教職員住宅の入居率について、年々減少傾向にあるので、管理を集約するなどの効率的な運用を図ること」という指摘などを理由にしたものです。

素案では、県下各地に268棟1062戸ある公舎を棟ごと(一戸建ても含む)に、A…処分予定、B…入居状況によって処分予定公舎とす。また、現在、学校ごとに管理している公舎を、通勤可能と考えられる地域区分(18地域)で管理する体制に変更する方向性を示しています。

また、現在、学校ごとに管理している人に退去を強制することはない」と述べました。

また、「廃止が決まっても、入居している人に退去を強制することはない」と述べました。

また、「廃止が決まっても、入居している人に退去を強制することはない」と述べました。

### 高教組

### 「学校の意見を尊重すべき」入居制限をするな

高教組は、人事異動方針が5地区制になって長距離通勤が増加して、今年度末の人事異動の際に、公舎の集約化がさらに長距離通勤を増やすことにならないようにしなす。今回の異動のためにも、廃止とするA判定は機械的に行わず、学校の意見を尊重することを求めました。

また、各学校への通知

また、各学校への通知

また、各学校への通知

また、各学校への通知

また、各学校への通知

また、各学校への通知

また、各学校への通知

また、各学校への通知

また、各学校への通知

| 学校   | 所在地                      | 戸数 | 現在の入居数 |
|------|--------------------------|----|--------|
| 長崎南  | 長崎市田上町 400-4             | 3  | 1      |
| 島原工業 | 島原市萩が丘 1丁目 5630 (2棟)     | 5  | 2      |
| 大村   | 大村市久原 2-716-2 (7棟) の内の1棟 | 5  | 1      |
| 鹿町工業 | 鹿町土肥ノ浦免 87-16 (2棟)       | 6  | 2      |
| 口加   | 加津佐町己 2291-2 (4棟) の内の2棟  | 6  | 4      |
| 西彼杵  | 大瀬戸町雪浦下郷 1360-9 (2棟)     | 16 | 1      |
| 豊玉   | 豊玉町仁位 1200-4             | 3  | 2      |

### 「意見を聞く」「人気のところを紹介する」

これに対して県教委は、各学校から意見を聞くことをあらためて確認するとともに、入居制限については「入居は、各学校から意見を聞かない」ということでは、現在Aに分類している公舎は老朽化して



さようなら原発 ナガサキ集会

### 全県支部代表者分会長会

3月31日(土)

- 1時30分～5時
- 会場：諫早市高城会館
- 懇親会・宿舎：道具屋
- 5時30分～8時
- \*要求書づくり、交渉情
- 宣などのやり方をより実
- 践的に交流します。\*ま
- た、いまの職場の状況や
- 組合活動への思いを語り
- 合います。\*さらに、団
- 結が厳しいなか、分会や
- 組合員相互の意思疎通を
- 心底から図るために、懇
- 親会を持ちます。

【お願い】\*年度末初め

【お願い】\*年度末初め

【お願い】\*年度末初め

【お願い】\*年度末初め

【お願い】\*年度末初め

【お願い】\*年度末初め

【お願い】\*年度末初め

【お願い】\*年度末初め

【お願い】\*年度末初め

### 先生の学校

3月31日(土)

- 3時～5時
- 会場：諫早市高城会館
- テーマ：学級開きの仕
- 掛け方と学級通信のつ
- くり方
- \*アドバイザー
- 平井秀治さん(高教組執
- 行委員長・高校講師)
- 「長年、生徒の成長を
- 促し保護者の信頼を高
- める学級づくりを追究
- してきました。うまく
- いかなかった事ばかり
- でしたが、一貫して学
- 級開きと学級閉じ、そ
- して学級通信づくりを
- 重視してきました。教
- え子が至るところで活
- 躍しているいま、改め
- て参加者と一緒に学級
- づくりのことを考えた
- いところ。委員長
- として本場に最後のご

奉公です。

○参加対象者…組合加入の有無を

○「先生の学校」の参加者で希望

○「先生の学校」の参加者で希望

○「先生の学校」の参加者で希望

○「先生の学校」の参加者で希望

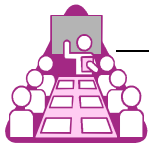
○「先生の学校」の参加者で希望

○「先生の学校」の参加者で希望

○「先生の学校」の参加者で希望

## これでいけるぞー！新年度

## 3.31集まって語ってのんで学んで



### 「原発ゼロ」を求めて約1千人が集会

#### 長崎高教組から14人が参加

東日本大震災から1周年となった3月11日、集会では、開催冒頭と「原発ゼロ」をめざす14時46分に、震災犠牲者への黙祷を行うと、ガサキ集会所が長崎市の中央公園で開催され、約1千人が集まりました。高教組も県下各地から1

女性の訴え、玄海原発の稼働差し止めを求める訴訟の弁護団からのアピール、歌やピアノ演奏などで「原発ゼロ」を求める思いが仮設ステージで発表されました。

集会終了後、参加者はプラカードや仮装などで沿道の市民にアピールしながら、湊公園までパレードを行いました。